



## IRONOMI / 色彩の実

『IRONOMI』は、KEN IKEDAが2025年に提唱した独自のアート概念である。

その根底にあるのは、人間の感情、記憶、感覚、直感は、かけがえのないものであるという思想である。

AIが進化し、社会が加速し、宇宙時代が現実のものとなりつつある今、KEN IKEDAは改めて「人間の内側」に意識を向ける。

効率化されるもの。  
数値化されるもの。  
自動化されるもの。

その一方で、言葉になる前の感覚、時間の中で変化する感情、記憶の奥に残る微かな揺らぎは、簡単には置き換えることができない。

人間は本来、感覚から世界を受け取り、そのあとに言葉や理由を探していく。

会った瞬間に分かること。  
目を見たときに伝わること。  
説明より先に、身体が反応すること。  
虫の知らせのように、理屈より先に届く感覚。

IRONOMIは、その見えない内側の動きを見つめ直すためのアートプロジェクトである。

『ironomi』は、「Colors of Inner Motion」をテーマに、人間の内側で揺らぎ続ける感情や感覚の変化を、光・色彩・反射・構造によって表現する作品シリーズである。

これまでアートは、主に描き手の感情や思想を表現してきた。

IRONOMIは、鑑賞者の内側に生まれる変化に着目する。

作品を見る。  
空間を通過する。  
光や色に触れる。

その瞬間、鑑賞者の内側には、言葉になる前の反応が生まれる。

理由はまだ分からない。  
けれど、何かを感じている。

まだ言葉にならない感情。  
記憶の奥で揺れる感覚。  
自分でも気づいていなかった内側の変化。

KEN IKEDAは、その一瞬の反応と、内側に残る痕跡を「色彩の実(いろのみ)」と捉えている。

一度通過した時間は戻らない。  
同じ光、同じ色、同じ感情は、二度と同じ形では現れない。

だからこそIRONOMIは、時間の不可逆性と、そこに残る感情の輪郭を大切にしている。

作品は、単なる視覚表現ではない。

鑑賞者の内側に眠る記憶や感覚を呼び起こし、その人自身が何に反応し、何を美しいと感じ、何を大切にしているのかを映し出す装置である。

IRONOMIは、感情を個人の内側だけに閉じたものとして捉えない。

感情は、人と人をつなぎ、文化を生み、社会の記憶を形づくる。

怒りの奥にある悲しみ。  
違和感の奥にある願い。  
距離の奥にある愛。

表面に現れる感情だけでは、人間の本質は捉えきれない。

IRONOMIは、その奥にある感情の層を見つめる。

その視点から、IRONOMIは『Human Emotion Infrastructure (感情基盤構想)』へと深化している。

感情を、社会や文化を支える基盤として捉え直すこと。  
記憶や感覚を、未来へ残す価値として見つめ直すこと。

それがIRONOMIの先にある未来である。

AIや宇宙時代へ突入する今だからこそ、KEN IKEDAは人間の内側に残る感情、記憶、感覚、直感の重要性を作品として提示する。

人類が宇宙へと活動領域を広げる時代において、問われるのは技術だけではない。

私たちは何を感じ、何を記憶し、何を美しいと感じてきたのか。

重力や環境が変わる宇宙空間だからこそ、人間を人間たらしめる感情の揺らぎ、感覚の記憶、地球で生まれた美意識を残すことが重要になる。

宇宙から見れば、地球はひとつである。  
人間も、自然も、社会も、文化も、ひとつの連続した生命活動の中にある。

IRONOMIは、その高い視点から、人間の内側に残る感情の痕跡を、光・色彩・反射・構造によって可視化し、地球から宇宙へと接続する。

それは、宇宙時代におけるアートの役割を問い直す試みであり、人間の感情と文化を未来へ残すためのアート宇宙構想である。

IRONOMIは、未来技術のためのアートではない。  
人間の内側を、未来へ残すためのアートである。

### Contact

AIR PLANT Co.,Ltd.  
Email:airplant.co.ltd@gmail.com  
Website:https://kw-airplant.com  
Instagram:@kw\_airplant  
Lit.Link:https://lit.link/icbajapanproject